

20周年記念 コムズフェスティバル 市民企画分科会 実施報告書

グループ名	えひめ障がい者スポーツ研究会
開催日時	令和2年2月14日（金）18：00～20：00
テーマ	笑顔で障がい者スポーツを通じてだれもが地域で生きることのできる社会を目指そう
形式	パネルディスカッション
講師等	特定非営利活動法人 パラワク理事長、非営利活動法人ふうしすてむ理事長 川崎 壽洋 特定非営利活動法人 タンデム自転車NONちゃん倶楽部 理事長 津賀 薫 車いすテニス：株式会社ファインデックス所属 清水 克起 パラ陸上：株式会社フジ所属 菊池 紗弥香
参加人数	合計 41名（女性 19名，男性 22名）
実行委員数	合計 5名（女性 3名，男性 2名）

〈内容〉

パネリストとして、障がい者スポーツを支援している NPO 団体の方 2 名と、現役パラアスリート 2 名、モデレーター 1 名で開催し、支援する側、される側それぞれの立場から、現状と課題について意見を述べてもらった。援者側として、障がい者や団体の活動を知ってもらうことが重要であること、受援側としては、トレーニング環境の整備として、ハード（施設）ソフト（スタッフ）の両面がまだまだ不十分であることなど意見が出た。今回は、参加者の中にパラアスリート、指導者、障がい者家族、企業、行政、高校生等マルチステークホルダーの方にもそれぞれの立場からの意見を述べていただき、今後の障がい者スポーツについて意見交換できた時間となった。今回聴覚障がい者の方も参加していただいたので、手話通訳 3 名ご支援いただきました。



〈参加者の声〉

- ・選手、支援者のことや課題がわかった・障がい者スポーツのことを知ることができた
- ・大会やイベントのことが周知されていない・障がい者スポーツの活動に協力したいと思った
- ・いろいろな方の生の声を聞くことができよかった・映像を見て感動した・パネリストの言葉に感動した「周りの人が線引きしない」・いろいろな年代の方が参加していてよかった

〈まとめ〉

パネルディスカッションの目的は、障がい者支援をスポーツを通じて行うために、違う立場から様々な意見をもらい、まずはお互いを知ること（存在、活動）、そしてそれぞれの活動を広めることは概ねできたのではないのでしょうか。これからの地域社会において、障がい者も健常者も多様性社会に向けてお互いが理解し、共生できる地域となれるようみんなで取り組んでいける環境づくりを目指して、今後も活動していければと思います。

今回、コムズフェスティバル初参加でしたが、コムズの皆さんには大変お世話になりました。ありがとうございました。感謝